



第1回全体会（令和2年9月10日開催）

資料1

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
1	坂本委員	<p>【地域防災活動事業】</p> <p>・地区防災計画が、各振興町会ごとに作成されており、地区ごとでは情報共有されているが、地域振興会の町会を超えた広域的な情報発信をお願いしたい。</p> <p>・もと津守小学校は、廃校決定時に耐震の補強工事が行われていない。耐震対策の現状、あるいは施設利用上の制限、これを改めて皆さんと情報共有できたらと思う。避難する方法など、独自に避難先を選定することも念頭に置いて、広域的な情報発信をお願いしたい。</p>	<p>・西成区では連合単位で、地区防災計画を作成している。一方で、防災マップを、北・中・南版の3ブロックに分けて作っており、その裏面には、区内全域の確認ができるようにしている。避難者の避難先には指定がないため、収容人数を超過している場合などを除き、どの避難所に避難してもらっても構わない。避難所や一時避難所の確認には防災マップを使っていただき、避難所のルールや、地域ごとのルールについては地区防災計画で確認する形で活用いただけるよう、引き続き情報発信を行う。</p> <p>・もと津守小学校に関しては、東館の耐震性が不足しており、講堂がつり天井のために、災害時の避難所スペースとしては指定はしておらず、北館のみの指定となっている。なお、昨年度作成した津守地域の防災計画でも、北館を使用したレイアウトとなっている。大規模災害時には各避難所の避難者数を調整するなど、新型コロナウイルスの感染予防を行いながら、災害対策、被災者の支援を行っていこうと考えている。</p>	<p>■2年度に対応 □3年度に対応（予定） □引き続き検討 □対応困難または不可 □その他</p>
2	上村副議長	<p>【空家対策推進事業】</p> <p>・空き家になる前の空き家予備軍（単身高齢者の方の家）の率が、大阪市内では西成が一番高い。全国的にも非常に高い状況。将来空き家になる可能性がある。西成区役所では、前年度から、空き家の対策セミナーをされているが、空き家になる前にどうするかということは、いろんな手法があると思うので、引き続き啓発していただけたらと思う。</p>	<p>・空家等のセミナーについては、平成28年度より実施しており、今年度も12月12日土曜日に阿倍野区と合同で西成区役所で開催する予定である。今後、啓発セミナーを開催するだけでなく不動産にかかわる団体と連携し、様々な方策を検討していきたいと考えている。</p>	<p>□2年度に対応 □3年度に対応（予定） ■引き続き検討 □対応困難または不可 □その他</p>

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
3	上村副議長	<p>【地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業】</p> <p>・来年に向けて、新今宮フェスティバルで例えば、勝間凧やヒシ梅ソースなど西成区の特産的な物を置いた西成区のアンテナショップ的な事をしてはどうか。それから、学生さんに協力してもらい、一緒に知恵を出していただいて、商店街の活性化や、企業の方に役に立つことができないか。</p>	<p>・令和元年度は大阪府が実施する「商店街版地域商社“西成商事”」への委託事業で西成区の特産品を販売するアンテナショップ等が実施され、区主催の新今宮フェスティバルと連携してイベントを開催した。令和2年度は、デザイン専門学校と商店街と連携して、学生が実際にまちを歩いて商店主に集客策を提案する取組を実施されたと聞いているので、そうした大阪府事業等との連携についても検討してまいりたい。</p>	<p>■2年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/>3年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/>引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/>対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>
4	甲斐田委員	<p>【待機児童】</p> <p>・待機児童の問題で、コロナの関係で児童の受入れが困難になっているということはないか。</p>	<p>・現在、保育所も通常どおりやっており、コロナの関係で受入れが困難な状況ではない。ただ、保育所での感染を心配される保護者も確かにいらっしゃるので、そこは保育所も安全対策をきっちり取って、受入れをしている。</p>	<p><input type="checkbox"/>2年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/>3年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/>引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/>対応困難または不可</p> <p>■その他</p>
5	上村副議長	<p>【地域活動協議会】</p> <p>・地域活動協議会への支援内容について、これまで、まちづくりセンターでは企業との連携までできなかったが、今年度は区役所が直轄でされるので、例えば西成産業会と地域活動協議会との連携を、ぜひご検討いただきたい。</p>	<p>・地域活動協議会への支援については、これまでのまちづくりセンターの支援員によるものから、令和2年度より区役所職員が直接行うこととしており、他団体との連携協働といった分野においても取組を進めている。今年度の取組としては、地域活動協議会が作成するリーフレット等を関係先へ配布することを支援し、地域活動協議会の認知度向上や、自主財源の獲得・企業等との連携といった事例創出に繋げていくこととしている。</p>	<p>■2年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/>3年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/>引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/>対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>
6	坂本委員	<p>【学校体育施設開放事業】</p> <p>・学校体育施設開放を再開する際に、何か基準になるものはないのか。</p>	<p>・学校体育施設は、教育委員会が作成した「学校施設の消毒ルール」を順守したうえで、使用可能となっている。使用にあたっては、各地域の運営委員会と学校とで協議いただくこととなっており、一部では再開している地域もある。先日は学校体育施設開放事業の関係者を対象に説明会を行った。しかしながら、学校ごとの施設の状況や、万一感染があった場合の学習機会への影響もあり、再開に慎重な学校もあると認識している。いずれにしても、使用については学校と十分協議のうえ、ご検討いただくようお願いしたところである。</p>	<p><input type="checkbox"/>2年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/>3年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/>引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/>対応困難または不可</p> <p>■その他</p>

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
7	村井委員	<p>【災害対策】</p> <p>・避難場所等の備蓄は、例えばあいりんの労働センターの近くの避難所では、300人～400人分が備蓄されていると聞いている。あいりん地域には1万人前後いるが、果たしてその数で対応になるのか。備蓄の設備は何か所かあると思うが、それを合わせたとしても1万人分になるのか。</p> <p>・災害時は自助、共助、公助が基本になると思うが、理解が果たして十分だろうか。区役所から、これぐらいまでやったほうがいいとか、これぐらいの心構えをしておいたほうがいいと説明して伝えていくことを、繰り返し行う必要がある。</p>	<p>・各避難所の備蓄については、これまで市共通で300食分を備蓄していたが、平成30年度に拡充し、西成区は2700食（300人×3食×3日分）としている。大規模災害時に、なお不足する避難所には、区役所や市内の備蓄拠点等から運搬する計画となっているが、大阪府市の備蓄計画では想定避難者数53万人の1.2倍×3日分の備蓄となっている。</p> <p>・ご指摘のとおり、自助・共助が大切である。引き続き、防災出前講座や地域訓練などあらゆる機会を活用し、家庭での備蓄などの重要性を周知していきたい。</p>	<p>■2年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/>3年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/>引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/>対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>
8	西前委員	<p>【災害対策】</p> <p>・避難場所の定員は、コロナ禍のために半分程度にされていると思う。災害時は、自分の家や部屋が安全なら自宅避難をするよう自分の町会の中でもアナウンスしているが、自宅避難のアナウンスは、大阪市役所や区役所も、もっと発信していく予定なのか。</p> <p>・自宅避難した方には、避難物資の配布はどうしていくのか、町会の中で自宅避難の方をどれだけ把握できるか。</p>	<p>・まず、自宅避難のことは、周知を強めていこうと考えている。8月号の広報紙でも、そういったフロー等を掲載しており、災害によっては自宅が安全という場所もあるため、フロー等を活用し判断していただけたらと考えている。また、9月号の広報紙にも避難カードを掲載し、あらかじめどこに避難するかを、それぞれ考えていただく資料があるが、それによって自宅が安全だという場合は、自宅に避難をしていただきたいことを、引き続き周知していきたい。</p> <p>・あわせて、その場合に物資が届かないんじゃないかという話に関しては、もちろん各避難所に物資が届くが、自宅避難の方も含めて、各避難所に取りに行くことができるように、その対応も今後考えていきたい。</p>	<p>■2年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/>3年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/>引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/>対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>
9	西前委員	<p>【災害対策】</p> <p>・家にいても、なかなか連絡がつきにくい方もおられる。災害時には通信手段が途切れてしまうこともあると思う。例えば、「私はここにいますよ」と伝えられる通信手段や、区役所の専用ダイヤルに安否を伝えたと町会へ伝わるというような体制を作ることは可能か。</p>	<p>・災害時には、要援護者名簿や地域の見守り活動も活用させていただいて、災害対応を考えていきたい。ただ、それが十分周知されているか、どういう体制になっていくかということについては、まだまだ課題があると考えており、今後うまくいように進めていきたいと考えている。</p>	<p>■2年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/>3年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/>引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/>対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
10	酒井委員	【災害対策】 ・防災スピーカーは、以前は音が小さくて聞こえなかったが、今回の災害訓練では音は大きい聞き取りにくい語尾しか聞き取れなかった。一人暮らしでネット環境がない人が多いので、アプリなどで発信されるより、防災スピーカーのような公共の情報が入りやすいと思う。防災スピーカーは、もうちょっと明瞭にならないのか。	・防災スピーカーに関しては、高性能化を進めており、順次取替えをしており、改善していくと思う。まだまだ全域ではないが、できるだけ急いで進めていきたい。また、聞き取りにくい場合は、電話で言った内容が聞けるというシステムもあるので、そういったものも活用していただけたらと思う。加えて青パト等による周知も考えていきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
11	橋本委員	【見守りネットワーク事業】 ・要援護者名簿の情報は、各地域に提供されているのか、また、町会長や班長のところまで情報が届いているのかと思う。「あなたを担当している人はこの人ですよ」と言ってもらい、電話登録があれば、いつでも電話できるし、実際に助けに来てもらえる人に直接話をするほうが安心できる。そのほうが当事者にはありがたい。「あなたを覚えているよ」、「私がいざというときは行きますよ」と言ってもらえるような支援策を考えてもらいたい。	・西成つながり名簿（要援護者名簿）は、区社協の見守り相談室から地域に提供している。地域によって、連合町会長、民生委員長やネットワーク委員長など提供先は地域によってさまざまである。災害時には、「自助・共助・公助」による災害対応が必要で、地域ネットワークによる「共助」が非常に大切となる。そのためにも、西成つながり名簿を活用し、平時からの見守り活動を通して、地域内で顔の見える関係を作っていくことが重要であると考えている。しかしながら現状では、要援護者の方に応じた具体的な支援策までは構築できておらず、今後の課題であると認識している。	<input type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
12	奥田委員	【見守りネットワーク事業】 ・ネットワーク委員会での見守りの際に、区役所から預かった要援護者名簿を使って電話すると、「誰に電話番号を聞いたのか」と言われた。町会に入っていない人も多く、見守りは本当に大変。何かあったときに、どのように要援護者の人たちに電話し、見に行くかというのを、委員でいろいろと話している。要援護者名簿はとて素晴らしいと思って連絡したが、不審に思われることもあったので、お伝えしておく。	・西成つながり名簿（要援護者名簿）は、各地域の活動者（連合町会長、民生委員長やネットワーク委員長など）に提供し、見守り活動に活用いただいている。地域に情報提供することを同意していても、活用方法を認識していなかったり、時間が経過し同意したことを忘れていた場合もあるので、そのような時は見守り相談室または地域福祉担当にご連絡いただきたい。地域での継続した活動・支援は今後も大切であるので、引き続きのご協力をお願いする。	<input type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input checked="" type="checkbox"/> その他
13	上村副議長 (意見票)	【地域活動について】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための「地域活動の再開検討ガイドライン（西成区）」にチェックリストはあるが、具体的にどのようにしたらいいのか、どの程度までしたらいいのかわからない。すでに実施されているケース（子育て支援、高齢者施設等）でモデルとなるようなケースがあれば紹介してほしい。	・現在のコロナ禍で、区内の多くの地域活動が休止又は中止となっている。その中で区役所としては、事業を実施するにあたっての感染拡大防止のための対策についての要領を記載した「地域活動の再開検討ガイドライン」をお示しし、具体的な措置を講じるようお願いしている。なお、事業の性質によって活動の規模や密接度など実施する地域ごとに差異があるため、モデルケースを示すことは難しいと考えている。	<input type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input checked="" type="checkbox"/> その他